



プラスワン

毎日の生活の+1を！



今日からいよいよ最も長い2学期が始まりました。この夏休み中には全国各地で水難事故が多発し、また、地震などの災害でかけがえのない命をなくした人たちがいました。

本当に残念です。だからこそ、みんなは命をさらに大切にして欲しいと心から思います。以下、今日の始業式でお話した内容を改めて紹介します。

2学期始業式 講話

大きな事故や怪我の報告もなく、こうしてみんなの元気な顔が体育館に揃い、2学期の始業式を迎えられたことを心から嬉しく思います。さて、この夏休み、みんなはどのように過ごしたでしょうか。部活動に汗を流した人、受験勉強に本格的に取り組んだ3年生、家族との時間を大切にしたり、それぞれに充実した日々だったことと思います。1学期の終業式で今年の夏休みは「**Challenge+1 (チャレンジプラスワン)**」という共通の目標を掲げました。これは、決められた宿題をただこなすだけでなく、「**自分自身で決めた、もう一歩先の挑戦をプラスする**」という試みです。みんなの「+1」は何でしたか？「毎日欠かさず英単語を10個覚える」という学習の+1だったかもしれません。「部活動で毎日誰よりも早く来て準備をする」という行動の+1だったかもしれません。あるいは、「毎日家で皿洗いをする」「読んだことのないジャンルの本を1冊読み切る」といった、日常生活の中での小さな決意だった人もいるでしょう。この「Challenge+1」で最も価値があるのは、「**自分で決めて、自分で一歩を踏み出した**」ということです。人に言われてやる100歩よりも、自分で決めて踏み出した「+1歩」のほうが、みんなの心を大きく成長させます。たとえその挑戦が途中で思うようにいかなかったとしても、「やろう」と決意したその瞬間から、みんなは1学期の自分を超えています。ぜひ、自分の挑戦に胸を張ってください。今日から始まる2学期は、1年の中で最も長い学期です。体育大会や文化祭といった大きな学校行事があり、クラスや学年の絆、そして個人の力が大きく試される時期でもあります。ここで、夏休みにみんなが培った「Challenge+1」の精神が生きてきます。行事の準備で「もうひと工夫、アイデアをプラスしてみる」。日々の授業で「あと1回、手を挙げて発言してみる」。友達が困っていたら「声をかける優しさをプラスしてみる」。この、一人ひとりの小さな「+1」が合わさったとき、クラスや学年は、想像もしないような素晴らしい力を発揮します。2学期はぜひ、夏休みの「Challenge+1」を「**毎日の生活の+1**」へと進化させていきましょう。

みんながそれぞれの場所で、自分らしい輝きをプラスしてくれることを期待して、2学期始業式の言葉とします。

来週はチャレンジテスト(3年)、課題テスト(1・2年)があります。いまから準備を！